

1. 科目名 (単位数)	心理演習 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP3355
2. 授業担当教員	財満 鎮人		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	臨床心理学概論、心理学的支援法(基礎、演習)、精神疾患とその治療、心理的アセスメント、関係行政論のすべてを履修済みであること。		
7. 講義概要	<p>本科目は、公認心理師国家試験受験資格の要件となる心理実習を行うための準備として、具体的場面を想定した心理支援に関する知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とする。そのために、次の(ア)から(オ)について、基本的な知識を修得し、また具体的な場面を想定した役割演技(ロールプレイング)、事例検討を行う。</p> <p>(ア)心理に関する支援を要する者等に関する次の(1)から(4)の知識及び技能の修得 (1) コミュニケーション、(2) 心理検査、(3) 心理面接、(4) 地域支援 等 (イ)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援の計画の作成 (ウ)心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ (エ)多職種連携及び地域連携 (オ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解</p>		
8. 学習目標	<p>(ア)心理に関する支援を要する者等に関する次の(1)から(4)の知識及び技能を修得する (1) コミュニケーション、(2) 心理検査、(3) 心理面接、(4) 地域支援 等 (イ)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握について基本的な知識を修得し、支援の計画の作成について架空事例の検討を通して学ぶ。 (ウ)心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチについて理解する。 (エ)多職種連携及び地域連携について理解し、説明できるようになる。 (オ)公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解ができる。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に行った実習について A4 用紙 1 枚にまとめて提出する。 ・2 回レポートを提出する (A4 用紙 2 枚、2,400 字以上)。 1. 医療・教育領域における公認心理師の抱える問題 学部段階で行う心理実習は医療領域と教育領域であるので、このような領域における公認心理師はどのような仕事をし、どのような問題を抱えているかを調べることは、心理実習行うにあたり大いに役立つだろう。参考文献などで調べてまとめ、自分が疑問に思ったことや意見も述べなさい。 2. 公認心理師として将来どの領域で何がしたいか 将来公認心理師の資格を取得したとして、その資格を活かして自分がどのような領域で、どのような支援活動をしたいかを、参考文献などで調べてまとめなさい。 		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】野島一彦編『公認心理師の職責』遠見書房、2018。 【教材】授業内容資料及びワークシート</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準 学習目標にあげた(ア)～(オ)の5項目について、基本的な知識の修得、ならびにロールプレイングや事例検討への積極的な参加を評価する。</p> <p>○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢 50%、課題レポート 50% で判断する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> ・本授業は心理実習を行うための準備として位置づけたものであり、必ず心理実習に役に立つはずである。 ・演習と実習を多く採り入れた授業であるので、主体的に取り組むこと。 ・討議を毎回取り入れるので、積極的に発言すること。 ・授業は正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないこと。 		
13. オフィスアワー	原則週に 2 コマを第 1 回の講義の際に指示をする。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	・心理支援とは何か ・5 領域 (医療、教育、福祉、司法、産業) の心理支援の概要	事前学習	心理支援にはどのようなものがあるか調べてくる。
		事後学習	5 領域のうち自分が興味をもった領域をさらに調べてみる。
第 2 回	・言語的コミュニケーションと非言語的コミュニケーション	事前学習	コミュニケーションの種類と違いについて調べてくる。
		事後学習	授業で扱った具体的な技法について復習しておく。
第 3 回	・心理アセスメント (観察、生育歴、心理検査)	事前学習	医療・教育領域ではどのような心理検査が有効か調べてくる。
		事後学習	事例を一つ探して、心理アセスメントの実際を確認しておく。
第 4 回	・実習場面で有効な心理検査と報告書 ・YG、バウムテスト、動的家族画、WISC	事前学習	心理検査法のテキスト・資料で 4 つの心理検査を確認してくる。
		事後学習	実習でおこなった心理検査の報告書をさらに仕上げる。
第 5 回	・カウンセリングの実際 (ビデオ視聴)	事前学習	認知行動療法について調べて、どのようなものか確認しておく。
		事後学習	ビデオから学んだ技法を自分でもさらに調べて確認しておく。

第6回	・カウンセリングのロールプレイ ・逐語録の作成	事前学習	ロールプレイで使用する技法について確認しておく。
		事後学習	逐語録をパートナーと確認してみる。
第7回	・プレイセラピー	事前学習	プレイセラピーにはどのようなものがあるか調べて確認しておく。
		事後学習	実習先としての適応指導教室ではどのようなプレイセラピーがよいか調べる。
第8回	・病院臨床の実際 ・事例検討	事前学習	病院臨床では心理師がどのようなことをするのか調べておく。
		事後学習	本時の事例について自分なりの理解・疑問・感想を書いて次回提出する。
第9回	・教育臨床（適応指導教室）の実際 ・事例検討	事前学習	教育臨床では心理師がどのようなことをするのか調べておく。
		事後学習	本時の事例について自分なりの理解・疑問・感想を書いて次回提出する。
第10回	・児童養護施設の実際 ・事例検討	事前学習	児童療護施設では心理師がどのようなことをするのか調べておく。
		事後学習	本時の事例について自分なりの理解・疑問・感想を書いて次回提出する。
第11回	・DSM-5	事前学習	病院臨床・教育臨床ではどのような病理が多いのか調べてみる。
		事後学習	統合失調症・うつ病についてさらに調べて理解を深める。
第12回	・教育臨床における個別支援計画 ・発達障害への支援	事前学習	個別支援計画とはどのようなものか調べておく。
		事後学習	発達障害への支援について、個別支援計画と合わせて調べて確認する。
第13回	・産業領域のメンタルヘルス、復職支援	事前学習	産業領域ではどのような問題があるのか調べておく。
		事後学習	復職支援プログラムについてさらに調べて理解しておく。
第14回	・多職種連携及び地域連携 ・チーム医療、チーム学校	事前学習	医療領域・教育領域における心理師が多職種と連携するということは、だれと、どのようなことをするのか調べておく。
		事後学習	医療領域・教育領域における連携上の問題について整理しておく。
第15回	・職業倫理及び法的義務 ・インフォームドコンセント、守秘義務、人権	事前学習	心理師の倫理や義務とは何があるか考えておく。
		事後学習	クライアントの人権についてさらに調べて理解を深める。